

## 新潟の地質年代と観察コースの対応表

地質時代		年代	新潟の歴史	地質的なできごと、そのころの生物		観察コース			
新生代	第四紀	完新世	平野形成の時代	○広大な新潟平野の形成	人類の時代	縄文人	○五十公野活断層		
		後期				段丘形成の時代		○氷河による 海面の昇降 ○山地の急激な隆起	旧石器人・ ナウマンゾウ
		更新世 中期	海がしりぞく時代	※魚沼層 灰爪			○越後山地の上昇と海の埋め立て		シガゾウ アカシゾウ トド
	更新世 前期	海の時代	○海が浅くなる	哺乳動物の時代	クジラ・魚	○胎内貝化石			
	鮮新世						西山層	○深海	海棲の貝
							椎谷層	○東日本海の形成、拡大 グリーンタフ	植物化石
							寺泊層		
	新第三紀						後期	七谷層	○アジア大陸の東の縁
		中期	津川層						
	古第三紀	前期	三川層	○新潟全域が海底サンゴ礁、海底火山、変成岩	両生類・魚類	ウミウリ・サンゴ・フズリナ・三葉虫			
相川層									
中生代	2300万	大陸の時代				○新津大沢			
中生代	6500万	太古の海の時代				○胎内鳥坂山			
						○笹神魚岩			
古生代	2億3000万					○五十公野			

※新潟でよく使われる（標準）地層名